

「窓から穴道湖を臨み」「広がる青空」
緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

玉造厚生年金病院広報誌

たまつくり

ノウ

No.25

2011年 秋号



人工関節手術の見学に国内外からおいでになります。今回は海外から3名(右から3名)の先生方がおいでになりました。ディスカッション風景

理 念

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



Contents

元気に歩ける喜び・幸せ教室	2・3
海外での人工関節セミナーに参加して	3
リハビリ実習を受け入れています	4
中学生インターンシップ	5
東日本大震災医療ボランティアに参加して 「骨ケア劇場」を設置しました	6
新人紹介 地域の方のご紹介	7

人工関節 OP 件数 7,295 件 (9月29日現在)

元気に歩ける 喜び・幸せ教室

今回の第2回目の公開講座は、7月のとても暑い日でしたが80名近い方々にご参加いただきました。池田部長の講演と理学療法士2名による「自分で出来る筋力トレーニング」の実技指導を行いました。講座で覚えたトレーニングは、ぜひ自宅でも続けてください。

第2回市民公開講座(7月24日)

人工関節に関する最新トピックス



整形外科部長 池田 登

摩耗とクロスリンクポリエチレンについて

人工股関節 32年痛みなし

現在の人工股関節は1960年頃、Sir John Charnleyによって開発された人工股関節(図1:ポリエチレンソケットとステンレススチール製の骨頭ステム一体式の人工関節)が基礎となって発展してきました。このCharnleyが開発した人工股関節はその時期以前に使用されたものと比べ、材料、形態ともまさにエポックメイキングな開発でした。先日、この初期の人工股関節が当院で行われ、32年経過している患者さんが検診に来られ、画像上問題なく、32年間痛みのない生活を送られ、非常に満足されていると高い評価が得られていました。

しかし整形外科の分野では人工関節のさらなる機能向上と長期の耐用性を目指して研究が行われています。本日はその一端をご紹介します。



図1

なぜゆるみが生じるのか

人工関節に再手術が必要となる合併症として、ゆるみ・感染・習慣性脱臼などがあります。そのなかで人工関節のゆるみについてお話しします。

まず、ゆるみはなぜ生じるのかですが、まだ十分わかっていないところもありますが、ほぼ次の説が通説となっています。人工関節の可動する部位は摺動面といって、最も一般的な材料は上にも書いたポリエチレン対金属です(図2)。ポリエチレンは超高分子量ポリエチレンといって、分



図2

子量は200~600万で、より滑りやすい素材となっています。このポリエチレンに対向する面は骨頭と呼び、初期はステンレススチール、その後コバルトクロム合金、さらにセラミックなどがオプションとして用いられています。ステンレススチールは現在でも用いられていますが、もちろん初期のものに比べれば、材質は洗練され進歩しています。人工関節は使用されるにしたがって、この摺動面でポリエチレンが金属によってすり切れてきます。これを摩耗と呼びます。このポリエチレンの摩耗によって小さな摩耗粉が体内に流出し、様々な経過をたどって、骨を溶かす細胞を活性化して人工関節周囲の骨を吸収した結果、ゆるみを生じるとされています。

摩耗の対策

1) クロスリンク

近年の研究開発で最も注目されるべき進歩はこのポリエチレンの耐摩耗性が向上したことです。これは従来のポリエチレンの材料にガンマ線もしくは電子線を照射し、炭素-水素の分子間結合を切断し、炭素同士を架橋させる「クロスリン



図3

ク」という方法によって達成されました(図3)。クロスリンクによって摩耗に強い3次元構造を持つポリエチレンが生み出されました。我が国ではこのクロスリンクポリエチレンは2000年3月から一般に使用可能になっています。クロスリンクポリエチレンという一語で包括されていますが、その内容は販売メーカーによって異なります。それぞれ長所と短所があります。クロスリンク作成過程で問題となっているのはクロスリンクと同時にフリーラジカルが発生することです。体内でフリーラジカルが発生すると酸素と結合し、ポリエチレンの劣化を招きます。劣化によってクロスリンクとは逆効果の摩耗の促進と機械的強度の低下を招いてしまいます。

2)フリーラジカル

このフリーラジカルを低減するための方法がメーカーによって若干異なっています。ポリエチレンの原材料にガンマ線もしくは電子線を照射した後、フリーラジカルを取り除くために、加熱処理が行われます。

ひとつはポリエチレンを加熱処理で完全に溶解させた後、再結晶化させます。これによりフリーラジカルは完全に除去されますが、機械的強度に不安が残ります。

2つめは高容量のガンマ線照射を3回に分けて照射して、それぞれの照射後、加熱処理が行われます。これは先の方法と異なり、機械的強度の低下を懸念して、やや低い温度で3回加熱させ、完全に溶解させないといった方法が採られています。これによって機械的強度は温存される一方、フリーラジカルはかなり低減できますが、完全に除去できないという不安が残ります。

3つめはポリエチレンをビタミンE溶液に浸漬・浸透させます。ビタミンEには抗酸化作用があり、ポリエチレンに添加されたビタミンEから放出した水素原子がフリーラジカルと結合することによってビタミンEはフリーラジカルを安定させます。

またそのほか、このクロスリンクポリエチレンの表面処理を行い、ポリエチレン表面をより低摩擦化した方法も開発され、まもなく臨床で一般的に使用される予定です。これは合成リン脂質であるMPCポリマーをポリエチレン表面に結合させることで、その摩擦係数を10分の1に低下し、耐摩耗性を向上しました。後ろ2者は持続的にその効果が続くかの疑問が残ります。

ポリエチレン 当院では……

現在は上記のいずれかの方法でクロスリンクポリエチレンが提供されています。いずれのものもまだ完全ではありませんが、

従来のポリエチレンと比べ実験的には90%以上の耐摩耗性の実証されています。臨床的には使用開始後まだ短期なので長期成績は報告されてはいませんが、耐摩耗性向上の点から非常に期待できる結果が予測されます。

当院でも2000年3月以後、このクロスリンクポリエチレンを使用して人工股関節置換術を行い、11年目になり1000人以上の方に使用してまいりましたが、ポリエチレンの摩耗が生じ、骨融解を生じたX線は今のところありません。

以上のように摩耗に対する研究は日進月歩で日々進化して行っていますが、手術の耐用性は最終的には人工関節を適切に設置する医師の技術がもっとも重要であることは言うまでもありません。



海外での人工関節セミナーに参加して



人工関節副センター長
川合 準

MIS セミナー in タイ

MIS (Minimally invasive surgery) とは、「最小侵襲手術」のことを意味します。近年人工股関節の分野でもMISが注目されており、従来は創の長さが20cm以上あるのが普通でしたが、最近では10cm前後で行うようになっています。しかし創の長さが短いだけでは、真のMISとはいえません。筋肉をできるだけ損傷せずに手術を行うことが重要です。ドイツで考案されたOCM手術は、筋肉を全く切らない人工股関節手術として画期的なもので、現在当院でも取り組んでいます。

本年7月10日～14日に、タイのコンケンにて、OCM手術に関するセミナーがありました。私を含めて日本全国から集まった9名の整形外科医が参加しました。成田からバンコク経由で現地入りし、翌日からそれぞれの参加者による人工股関節に関する発表、OCM手術に関する勉強会、手術手技トレーニングと、休む間もなく充実したセミナーとなりました。非常に意義のある体験ができたと思います。今後の診療に役立てたいと考えております。



リハビリ実習を 受け入れています



理学療法士
布野 宏治



玉造厚生年金病院リハビリテーション室では年間12名の臨床実習を行っています。臨床実習というのは大学または専門学校のカリキュラムの1つで最終学年時に学校外の医療施設および医療外施設等で実際に対象者の方を評価し、評価に基づいて理学療法または作業療法（リハビリテーション）を行うことです。内訳は理学療法9名、作業療法3名の学生を引き受けています。実習は長期と短期があり4月から始まり翌年3月まで行います。学校別では島根リハビリテーション学院2名（奥出雲町）、松江医療福祉専門学校1名（松江市）、YMCA米子医療専門学校3名（米子市）、川崎リハビリテーション学院2名（倉敷市）、朝日医療学院1名（岡山市）、ハーベスト医療福祉専門学校1名（姫路市）となっています。

実習は特に当院の特徴でもある人工関節を主体として行います。術前より患者様の病態を把握して評価し、治療プログラムを実践し最終的な評価を行います。もちろん手術見学もあります。手術前よりおおよそ退院までを通して患者様のリハビリテーションアプローチをセラピストと共に行います。また、学生には可能な限りカンファレンスや勉強会に参加していただきます。

実習指導で心掛けていることは、挨拶などの礼儀や患者様、スタッフとのコミュニケーションを大切にして学生の能力に応じた指導を行っています。病院実習を通して障害を持った人々の痛みが分かる感性を身に付けてもらえるよう支援しています。



実習をおえて

今回、2ヵ月間実習させていただきました。私は、人工股関節全置換術（THA）の方と人工膝関節全置換術の方を担当させていただきました。2人とも術前から評価をし、術後2日目という急性期な頃から治療もさせていただき、とても貴重な体験ができました。毎日、治療する中で変化・改善の早さについていけない時もありました。急性期から回復期へと移り変わる中で、どうすればもっと良くなるのか、どの方法が最善なのかを選択・実行し、また、選択・実行の繰り返しを行うことで患者様が本当に良くなるのだと実感しました。そして、なぜ、その方法を選択したのか目的を持つて行うことの大切さを改めて考えることができました。

また、人工関節センターの勉強会、脳卒中や褥瘡、マットレスなどの勉強会にも参加させていただくことができ、理学療法士だけでなく医師や看護師、作業療法士など、他部門の意見も聞く機会を得られ、とても充実した実習を送ることができました。

最後になりましたが、見学させていただく時も、温かく受け入れてくださった患者様、また、右も左も分からない自分に丁寧に教えて下さった先生方には感謝しています。

川崎リハビリテーション学院 矢吹文香



長期実習として玉造厚生年金病院で8週間実習をさせていただきました。今回、変形性膝関節症により人工膝関節全置換術（TKA）施工された方を中心にレポート作成を行いました。術前指導から始まり、手術見学もさせていただきました。

人工関節センターがある当院での優れたTKA術を見学でき、とても貴重な体験ができました。

その後理学療法評価を行い自ら立案した治療プログラムを実施し、経過記録を行い退院指導を行うまでの流れを体験させていただきました。整形外科急性期の理学療法士の役割を知り、実際に体験させていただきました。

その他にも先生方のご指導の下、様々な患者様に実際に触れさせていただき、整形外科疾患に対する様々な理学療法を学びました。

さらに、同じ疾患・同じ手術でも様々な経過があることを学びそれぞれに工夫が必要であることを知りました。

良質な治療技術があれば良いのではなく、患者様の精神面に着目し、いかに患者様のモチベーションを上げることが出来るかが重要であることを学び、理学療法士が向き合わなければならないのは疾患ではなく、患者様自身の今後の生活であることを本実習を通して学びました。

玉造厚生年金病院でご指導いただき、貴重な体験をさせていただいたことに深く感謝いたします。

平成23年7月29日

ハーベスト医療福祉専門学校 実習生 原田愛子

中学生インターンシップ

拝啓 紫陽花の色が日ごとに深まり、梅雨明けが待ち遠しいこのごろですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

さて、先日はお忙しい中、職場体験学習の機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

初めて病院の中の見学をさせていただきましたが、一つ一つ丁寧に説明をしていただき、うれしかったです。見学以外でもたくさんの体験をさせていただきました。病院の中にもいろんな仕事や部屋があって、驚きました。看護師には仕事がたくさんあって大変そうだなと思いました。看護師の仕事内容についてよくわかったので良かったです。貴重な体験をさせていただきました。

私は、この体験を通して学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

これから暑さが厳しい時期に向かっていきますが、皆様どうか健康に留意され、益々活躍されますよう心よりお祈りいたします。

2日間本当にありがとうございました。

敬具

7月1日 玉湯中学校3年 荒薦麻理恵



東日本大震災医療ボランティアに参加して



前列中央 筆者



未曾有の大震災から2ヶ月経った5月22日より、私たちは宮城県石巻圏内合同医療チームとして石巻赤十字病院及び渡波小学校診療所に救護活動を行いました。

実際に被災地を訪れ、海岸付近にあった病院や学校などの建物は全て津波により崩壊し、想像をはるかに上回る被害の大きさに言葉を失いました。海岸より少し離れた場所にある石巻赤十字病院は津波の被害がなかった為、宮城県内最大の中核病院として何とか機能していました。

震災直後は病室、診察室だけでは間に合わず、廊下や病院ロビーまでも患者さんで溢れ返り、野戦病院のような状態だったそうです。

私たちが活動した5月下旬には、被災した病院の仮設診療所での診療再開や開業医の診療も少しずつ再開され、医療体制が整い始めている状況でした。そのため、石巻赤十字病院も落ち着きを取り戻しつつありました。それでも、救急外来に受診される患者さんの数は通常の5倍に上ったそうです。

そのような状況の中で生活しているにも関わらず、悲観し落胆している方は少なく、多くの方は前向きに努力しておられ、東北の方々の芯の強さを感じました。

震災より半年が経過し、ガレキの撤去作業はほぼ終了したというニュースも聞かれるようになりましたが、震災以前のような生活を取り戻すにはまだまだ時間がかかると思います。今回は医療支援という形で関わらせていただきましたが、今後も私達にできる形で復興支援をしていきたいと思っています。

一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

看護師 越野 恵

「骨ケア劇場」 を設置しました



骨ケア劇場

玉造厚生年金病院は、

「骨折による寝たきり患者様ゼロ」を目指します！

現在、わが国において、要介護や寝たきりが社会問題となっています。特に、骨粗しょう症による骨折を含む運動器の障害は、脳血管疾患と並び要介護・要支援の2大原因のひとつです。そのため、骨粗しょう症は、早期発見し、正しく診断・治療され、骨折を防ぐことが非常に重要です。

当院では、骨密度検査をしています。

整形外科外来待合廊下に「骨ケア劇場」を設置しています。画面上にドラマやクイズ形式の映像が流れ、骨粗しょう症についてわかりやすく解説していますので、待ち時間にぜひご覧下さい。

骨密度測定検査をご希望の方は

「骨粗鬆症が気になる、検査を受けて自分自身の骨の状態が知りたい」方は主治医又は看護師にご相談下さい。骨密度測定検査のご予約をお取りいたします。



骨密度測定（腰部部分）

こんにちは 新人紹介 はじめまして



青山麻穂
(看護師)

勤務として5か月が経ちました。新卒のため、看護師としても社会人としても一年目です。まだまだ分からない事が多いので先輩方に指導をいただきながら毎日を過ごしています。患者様も明るく、コミュニケーションをとるのがとても楽しいです。毎日笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



大井川由佳
(看護師)

西3階病棟で働かせて頂いている大井川です。日々忙しい中でも、先輩看護師の方々に丁寧に指導して頂き、少しずつ仕事に慣れてきました。今後、一人前の看護師になれるよう頑張りますので宜しくお願いします。



青山晴香
(看護師)

働き始めて5ヶ月が経ちました。慣れないことばかりで惑い、迷惑をかけてしまっていますが、スタッフの方々の丁寧な指導や助言を頂き少しずつ自分でできることが増えていっていると感じています。これからも日々成長していけるように頑張りますのでよろしくお願いします。



三好奈緒
(義肢装具士)

私は、神奈川出身で就職も島根県も初めてでわからないことや不安も多くありますが、早く環境に慣れ、仕事を覚えていきたいと思っています。多くの人の笑顔が見られるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



渡部大樹
(医療情報課)

目標は、私が職員に採用されたので、当院は今まで以上に安全で水準の高い医療が提供可能になったと評価される事です。日々精進しています。医療を提供する一員として働く事を生きがいとし、当院を発展させ、自分自身も成長させます。



周藤あゆみ
(管理栄養士)

私は栄養相談等の仕事で患者様とお話する機会があります。幼いころから慣れ親しんできた「出雲弁」のはずですが、患者様の年季の入った「ずうずう弁」には太刀打ちできず、聞き取れない事も多々あります……（すいません）。専門知識についてはもちろんですが、出雲弁に関しても勉強が必要だなと思う今日この頃です。今後ともよろしくお願いします。

当院と連携していただいている

地域の先生のご紹介

さくらクリニック

院長 荒木朱美



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 3:00~6:30	○	○	休	○	○	※	休

※午後3:00~5:00

■休診日／水曜日の午後・日曜日・祝祭日

昨年お盆に富士山登山をしました。

出雲の地で開業し15年をむかえましたが、富士登山にたとえると9合目あたりでしょうか？

一番きつところですが、日々診療に追われています。

私の目標はorthopedic surgeon（整形外科医）というよりはgeneral physician（全科医）です。

いつも千束先生がスライドで御供覧の如く、「仏の心を持つ鬼手仏心」の医者を目指し日々研鑽中です。

玉造厚生年金病院というベストガイドのもと一歩一歩亀の歩の如く、さらなる高みをめざしてまいります。

よろしく願いいたします。



■住所／〒693-0068 島根県出雲市姫原3-1-1

■TEL／0853-23-3987 FAX／0853-25-2522

■診療科／整形外科・内科・リハビリテーション科

松江市国民健康保険 来待診療所

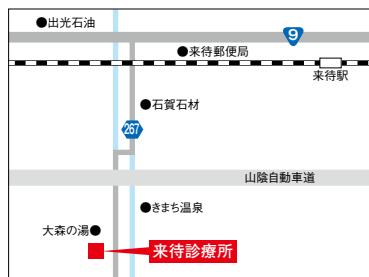
院長 山田顕士



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 4:00~6:00	○	○	休	○	○	休	休

■休診日／水・土曜日の午後
日曜日・祝祭日
年末年始(12月29日~1月3日)

当院は旧宍道町の東側、来待地区唯一の診療所です。昭和25年に来待村国民健康保険組合直営診療所としてスタートし市町村合併により同32年宍道町国民健康保険来待診療所、平成17年松江市国民健康保険来待診療所と名称を変え今に至っています。私は平成16年より赴任し内科を担当していますが、高齢化の進んだ地域ですので腰痛・膝痛・肩痛を抱えた患者様も多くいらっしゃいます。交通の便も良いとは言えず、移動手段を持たない高齢者も多く、旧宍道町時代からの方針で平成14年より隔週の土曜日午前中に玉造厚生年金病院の先生方の派遣を依頼しています。プライマリケアを担う診療所での専門医の診療は初期診断や玉造での検査、治療が一段落した方のフォローアップに大変重宝されています。また術後や脳卒中等の数名の患者様の訪問リハビリも依頼しています。今後も玉造の先生方、スタッフの皆様と連携を密にし、高齢になってもなるべく慣れた家で暮らせるような住みよい地域の発展に、微力ながら貢献していきたいと思っています。



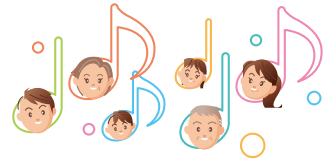
■住所／〒699-0405 島根県松江市宍道町上来待213-1

■TEL／0852-66-0002 FAX／0856-22-9051

■診療科／内科・小児科・整形外科・眼科



お知らせコーナー



元気に歩ける幸せ教室&人工関節友の会の集い

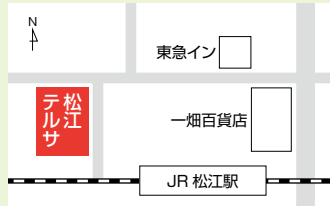
今年度、当院で開催しております「市民公開講座 元気に歩ける幸せ教室」と第5回「人工関節友の会」の合同開催で下記のとおり開催いたします。

膝と股関節痛でお悩みの方へ

日時 10月30日(日) 13:00~15:00

場所 松江テルサ
1Fテルサホール

要予約
入場無料



講演 ①人工関節とは ~膝関節と股関節~
人工関節センター 副センター長 川合 準

②玉造人工関節センターの仕組み
副院長・人工関節センター長 小谷博信

③質問コーナー
整形外科部長 池田 登

④ミニコンサート
島根大学大学院音楽研究会

申込先・問合先 玉造厚生年金病院 (0852-62-1591)

松江市民レガッタに参加して



この度、今年の松江市民レガッタに玉造厚生年金病院から2クルー出走しました。レガッタとはナックルフォアという競技用ボートで、漕ぎ手が4人、声出し(コックス)が1人、計5人でチームを組みます。参加クルーは300近くあり、今大会は今年で28回を迎える伝統ある、全国的にも最大規模の大会となっております。今回、私が高校時代ボート部であった事もあり、有志に声を掛け、当院からの出場は約5年ぶりとなりました。チーム名は「たまちゃん」とし、Tシャツを作成、気合いを入れ出場しました。練習は日々の診療に追われ、時間の調整が困難で、全体練習は1~2回であり、ある意味初出場、ぶっつけ本番という形となりました。しかし、

普段よりボートを漕ぐイメージトレーニングは欠かさずしておりました。結果、「たまちゃんA」(医師メインチーム)は見事予選を1位で通過しました。残念ながら準決勝は3着で、決勝には進めませんでした。皆清々しい良い汗をかく事が出来ました。「たまちゃんB」(リハビリメインチーム)は全員ボートを漕ぐのが初で、残念ながら予選落ちしましたが、皆一致団結し頑張りました。大会当日は出場のメンバー、家族、そして、応援に駆けつけて頂いた病院職員皆とBBQをし、親睦をはかりました。来年は更に、出場クルーを増やし、練習にも励み、大会に臨みたいと考えております。是非皆さまも応援よろしく願いいたします。

整形外科 吉田昇平

七夕コンサートを開催しました

今年で14回目となりました七夕コンサートを、8月3日に開催しました。

今年は未曾有の東日本大震災があり、みんなに元気が出るようにと、曲目も「夢をあきらめないで」「上を向いて歩こう」等を皆さんと一緒に歌いました。

また、銭太鼓「東京音頭」や隠岐の島民謡「きんにやもにや」の踊りもお楽しみいただきました。

メンバーが一同に会しての練習がなかなかできず、やや練習不足もあるかも知れませんが、歌の好きな、銭太鼓の好きな、踊りの好きな職員の思いが皆様に伝われば幸いです。



あとかき

9月に入り今年は12号、15号の台風が上陸大雨をもたらしました。毎年、日本に接近する台風の数は何個かあり、台風の被害に巻き込まれてもおかしくないのですが、今年の台風による被害の大きさには驚くばかりです。

安来市でも台風12号で、浸水による被害が出ました、被害に遭われた方の事を考えると、胸が痛むと共に、日頃から自分に何ができるのか、また、災害にあった場合にはどうしたらよいのかという事を考えられました。

A.Y

ホームページから たまづくり NOW が
ダウンロードできます。 <http://tamahosp.jp>

患者さまの権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。

あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。

あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。

あなたのプライバシーと個人情報には完全に保護いたします。

玉造厚生年金病院

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560